

令和元年
伊豆市議会 6 月定例会

一 般 質 問

令和元年 6 月

令和元年伊豆市議会 6月定例会一般質問者と質問事項

6月5日(水) 午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
1	15. 森 良雄	1 防犯カメラ	市 長	1
		2 1億円はどこへ		2
		3 関野川の管理は何処がしていますか		
		4 働き方改革	3	
		5 エアコン		市 長 教育長
		6 進入道路	市 長	4
		7 天城自然ガイドクラブ		
		8 二本杉峠		
2	12. 小長谷 朗夫	1 牧之郷地区計画をスピード感をもって推進するためには。	市 長	5
		2 「伊豆市地域振興基金」の使途に地域振興の拠点づくりとあるが、拠点とは何か。		6
3	11. 小長谷 順二	1 公立高校の魅力を高める地域づくりへの支援	市 長	7
		2 新基準における「ふるさと納税」の推進		8
		3 観光地のトイレ環境		
4	14. 杉山 誠	1 子どもたちを交通事故から守る取り組み	市 長 教育長	9
		2 外国人旅行者の防災安全対策について	市 長	
		3 自転車保険の加入促進	市 長 教育長	10
		4 AED設置場所情報の普及について	市 長	
5	13. 西島 信也	1 三中学校統合基本方針について	教育長 市 長	11
		2 災害廃棄物の処理等について	市 長	12

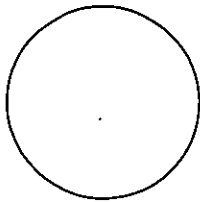
6月6日(木) 午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
6	6. 下山 祥二	1 市民生活の安心安全を守る行政サービスの取組について	市 長 教育長	13

6月7日(金) 午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
7	9. 青木 靖	1 地域公共交通の今後	市 長	15
		2 「生涯現役プロジェクト」		
8	4. 間野 みどり	1 オストメイトトイレと東京2020オリンピックパラリンピック	市 長	17
		2 8050問題について		18
9	16. 木村 建一	1 子育て支援という視点から、再び国保税の子ども均等割の軽減を要求します	市 長	19
		2 湯ヶ島地区の旧保健センターの活用はどうなっていますか		
10	2. 山口 繁	1 庁内組織の更なる機能強化とあるべき姿について	市 長	21
		2 耕作放棄地の解消と有効活用の推進について		23
		3 市有林における椎茸原木の有効活用について		24
		4 認知症などによる徘徊者の探索、身元確認事業について		
11	1. 波多野 靖明	1 消防団の現状と今後について	市 長	26
		2 土日、祝日の保育利用について		27





発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年 5月27日

伊豆市議会議長 三田 忠男 殿

議席番号 15 議員名 森 良雄

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		答 弁 を 求める者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
防犯カメラ	防犯カメラについては毎回、質問させていただいてます。	市 長
	それは、防犯カメラの性能は日進月歩だからです。	
	防犯カメラは日々、進歩しています。 3月の質問からでも一層の進歩がうかがえます。	
	市長は防犯カメラの導入には消極的なようですが、防犯カメラには犯罪の抑止力に大きな効果があります。	
	犯罪抑止力に大きな効果があることについて、市長はどう考えますか。お聞きしたい。	
	総務部長は防犯カメラを市が設置することはないと言っていますが、市長の考えも同じですか、伺いたい。	
	防犯カメラなくしては犯罪捜査も成り立たなくなっていますが市長はどう考えますか。同意いただけませんか。伺います。	
	防犯カメラの防犯効果は犯罪捜査の上でも、犯罪防止効果としても、大きな効果を発揮しています。	
	市長はどう思いますか。伺います。	
	総務部長は防犯カメラの設置は地域で考えてほしいと言っていますが、市長も同じ意見ですか、伺いたい。	
	地域と言うことは地域づくり協議会ということですか。確認したい。	
	防犯や犯罪抑止力については地域づくり協議会に任せると言うことですか。確認したい。このことは地域づくり協議会には話してありますか。いかがでしょうか、確認したい。	

件名	内容	答弁を求める者
1億円は	ふるさと創生事業の1億円は何処へ行きましたか。	市長
どこへ	1988年から1989年に政府は各市町に1億円を配布しました。合併前の旧町はそれを使ってまちおこしのためのいろいろな政策を実施しました。	
	旧修善寺町では何に使いましたか。修善寺振興公社に寄付したということですが、市民は承知しているのでしょうか。	
	寄付すると言う行為を市民への周知と議会は承認しているのでしょうか。議会への報告と承認の経過を知りたい。	
	議会の承認はどのようにされているのか伺いたい。	
関野川の	前回の河川管理の質問では良くわからないまま時間切れで、	市長
管理は何処が	質問が終了してしまいました。	
していますか	国土交通省も静岡県も河川の清掃に力を入れています。	
	河川の清掃はもとより、樹木の伐採や土砂の浚渫をすすめています。	
	それは、去年の西日本を襲った豪雨で多くの中小河川が氾濫したことにあります。甚大な被害をこうむりました。	
	被害を防ぐために、河川の流れを良くしようとするものです。	
	流れを良くするため、流れを阻害するものを取り除こうとするものです。伊豆市の北端を流れる野尻川の河川敷の雑草が取り除かれ、浚渫されて、きれいになりました。	
	去年の豪雨以来、河川の流れを妨げる樹木などの妨害物の撤去が進められています。	
	修善寺橋の上流の小規模の支川の管理は伊豆市でしょうか。	
	県がするのか、伊豆市が管理しているのか確認をしたい。	
	伊豆市が管理する場合について、伺います。	
	流れを妨げるような土砂やアシなどの植物等の妨害物についての、撤去や清掃についての伊豆市の考え方を伺いたい。	
	関野川の管理は何処がしていますか、伺いたい。	

件名	内容	答弁を求める者
働き方改革	この4月から働き方関連法案が施行されました。	市長
	伊豆市でも少なからず影響があると思いますが、どんな影響があるのか、影響と対策について伺います。	
	三島市、伊豆市及び伊豆の国市の電算センターではクラウド化を進めようとしています。	
	クラウド化も働き方改革の一つだと思います。	
	伊豆市の電算機のクラウド化について伺います。	
	すでにクラウドの導入は進められているとも伺いますが、クラウド化の現状と今後のクラウド化の計画状況はいかがですか、	
	予定はいかがですか、伺いたい。	
	三島市、伊豆市及び伊豆の国市の電算センターは今年度にクラウド化の計画が進められます。	
	この電算センターでは68の業務があります。	
	伊豆市は68の業務のうち53業務を電算センターで処理しています。すなわち15業務は伊豆市で処理しているのです。	
	このへんは間違いありませんね、確認したい。	
	戸籍	
	戸籍民刑	
	戸籍副本データのバックアップ	
	介護度認定の公平性・事務の効率化	
	特定検診の検診結果の入力・受診管理	
	上下水道の窓口業務・検診業務・調停業務・口座振替業務、	
	収納業務、農家台帳、障がい者福祉業務、	
	水道企業会計に関する財務会計管理	
	土木積算管理、農林土木積算管理、図書館予約システム	
	施設予約管理、畜犬管理、総合行政ネットワークシステム	
	これらの15業務を電算センターで共同で運営することは考えて	
	いませんか。理由も含めて伺いたい。	
	合わせて伊豆市の15業務の業者名も伺いたい。	

件名	内容	答弁を求める者
エアコン	今年も暑い夏が予想できます。	市長
	子供たちに快適な勉強環境を提供したいものです。	教育長
	教室へのエアコン設置は進んでいますか。	
	エアコン設置の進行状況を伺いたい。この夏に間に合いますか。	
進入道路	東こども園の建設工事が進んでいます。	市長
	工事の進行状況を伺います。	
	進入道路の建設状況を伺いたい。	
	建設状況を視察したいのですがいかがですか。	
	進入道路には岩盤が出てきたとのことですが、見ることはできますか。見えるようでしたら、見せていただきたい。	
天城自然 ガイドクラブ	天城湯ヶ島にある伊豆市観光協会天城支部について伺います	市長
	天城支部内に天城自然ガイドクラブがあるのでしょうか。	
	このクラブは民間のクラブだと思いますが天城支部との関係を伺いたい。	
	観光協会天城支部の事務所内に天城自然ガイドクラブはあるのですか。(夕鶴記念館)	
	ガイドクラブは民間の団体だと思いますがその活動は天城支部内でおこなわれています。	
	その根拠を伺います。	
	活動の許可は誰がしているのですか、この施設は伊豆市の施設だと思いますが、許可の根拠を伺います。	
二本杉峠	旧天城峠について伺います。	市長
	歩いて登る、旧天城峠です。	
	ゆうゆうの森から二本杉峠への遊歩道です。歩いて登ることは大変、危険な状況です。	
	誰が直すのか、直してくれるのか、伺いたい。	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年5月28日

伊豆市議会議長 様

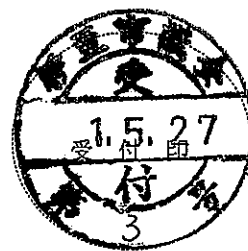
議席番号 12 議員名 小長谷朗夫

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		(一般質問)	質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発 言 の 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容		
1 牧之郷地区計画をスピード感もって推進するためには。	<p>牧之郷区では、平成27年4月より地域住民自らが地域住民のための住みよい地域社会を築くために、都市計画課の指導のもと今日まで、区民の皆様への情報提供、説明会、勉強会、ワークショップなど32回(H31.3.27現在)にわたる会合を開いてきました。結果、地区計画の基礎となる地区独自の基盤整備や土地利用のルールと方針を区民の意向を踏まえ検討し、ようやく牧之郷地区計画が都市計画決定され、平成31年3月29日に告示されました。平成31年度当初予算には新規事業「牧之郷駅周辺整備事業」として測量設計業務委託事業の予算化、また、届出対象行為や建築の方法等について解説するパンフレットの作成等推進のための予算措置が講じられました。いよいよという感があります。そこで昨年の9月議会において同様な質問をしていますが、改めて市長にいくつかお尋ねします。</p> <p>①地区計画が都市計画決定された現在、市長は牧之郷地区のまちづくり構想について、今後どのような姿に変遷していくことが望ましいと思いますか。</p> <p>②今年度以降、地区計画に沿ったまちづくりを順調に推進しようとする時、開発業者の誘致等を含め、市としてどのような支援が考えられるか。</p> <p>③地区計画でいう3ゾーンのうち、「田園住宅地区」を市の協力を得て、先行的に開発できないか。</p>		市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
<p>2 「伊豆市地域振興基金」の使途に地域振興の拠点づくりとあるが、拠点とはなにか。</p>	<p>先の3月議会において、新規に提案された「伊豆市地域振興基金」が可決されました。財務課説明資料の創設の目的には、『地域住民が主体となって自主的に行う事業への支援や公共交通の維持など、地域の発展に不可欠な事業であり、今後も現行の事業水準を維持する必要があるため、将来に渡る安定的な財源確保を目的に使途を地域振興事業に限定した地域振興基金を創設』したとあります。</p> <p>また、直近の広報伊豆では、基金の説明を『旧合併特例法に規定されている基金。使途は伊豆市建設計画に位置付けた市民の連帯の強化や、地域振興のための事業の財源とする場合に限られている。』とあります。これら以外に一連の報告・説明の過程では、地域振興の「拠点」づくりという説明もありました。</p> <p>ご承知のとおり、この案件の審議では、修正案まで提案されました。最終的には原案のとおりの内容で可決された訳ですが、基金の使途については今一つ不明な点があると考えられます。そこで、お尋ねします。</p> <p>①地域振興のための「拠点」とは何を指すのか。</p> <p>単刀直入にお尋ねします。</p> <p>②各地域にある公民館（含む類似施設）は地域振興の拠点にはならないのか。</p>	<p>市長</p>

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 5 月 27 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 小長谷順二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 公立高校の魅力をもつて地域づくりへの支援	<p>かつて市町村には、県立の高校にあまり関わってはならないという雰囲気があったように感じています。また県側でも高校再編を担当しているのは県の教育委員会なので、地域振興という観点が乏しかったようです。しかし、少子化が加速する中、近年はまず地元の自治体が危機感を持って地域の高校の魅力向上に動き始め、県側でも知事などの主導により、教育委員会の枠を超えて対応を考えるようになっていきます。</p> <p>文部科学省は 2018 年 10 月 2 日、公立高等学校入学者選抜において、県外からの募集を行っている都道府県公立高等学校一覧を掲載しました。北海道や秋田県、茨城県、長崎県など、47 都道府県のうち 32 道県で実施している状況で、秋田県の前期選抜では、すべての学校で県外からの出願を受け付けています。</p> <p>都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学し、充実した高校 3 年間をおくることは「地域みらい留学」と呼ばれており、静岡県内でも県立川根高等学校が県内・県外を問わず、川根地域外からの電車通学や寄宿生活を通じ社会性を育み、川根高校で学ぶ「川根留学」を川根本町がバックアップし魅力をもつてまちづくりを行っています。地域の魅力を発信し、全国公募で移住してきた生徒と接することで地域の子供達も新しい文化や価値観に触れ、適度な刺激や競争が生まれることで多様な価値観を醸成することができ、低下しつつある地域持続性を高めることにつながると考えますので、伊豆総合高等学校・土肥分校の魅力をもつてするための当市の取り組みと対策について伺います。</p>	市長

<p>2. 新基準における「ふるさと納税」の推進</p>	<p>ふるさと納税の新制度が6月から始まります。新基準は①寄附募集の適正な実施、②返礼品の調達費が寄附額の30%以下、③返礼品は地場産品の三つに適合した自治体を総務省が対象に指定する仕組みになっています。</p> <p>伊豆市の平成30年度の寄附額は3億9,670万円で第2次伊豆市総合計画の目標額、平成32年度3億円はすでに突破していますが、統一されたルールの中で伊豆市として新たな目標額と目標達成のための取り組み、そして寄附金の7つ使い道の事業成果について伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>3. 観光地のトイレ環境</p>	<p>一般市民や観光客等が利用するトイレ環境も、生活様式の変化や高齢化社会の進展に伴い、トイレの改善が求められています。また魅力ある国際観光地を目指している伊豆市では増加する外国人観光客への対応が必要となっています。</p> <p>熱海市では外国人観光客等受入環境整備事業費補助金を活用して民間事業者の和式トイレから洋式トイレへの改修に対し予算の範囲内において補助金を交付することにより、外国人観光客等の受入環境の向上を図っています。</p> <p>TOTO(株)による訪日外国人のアンケート調査によると再訪のきっかけとなる条件の1位は「Wi-Hi環境」で2番目に「トイレが明るく臭くない」だったそうです。</p> <p>伊豆市においてもトイレの洋式化は進んできていますが、特に公衆トイレの環境についてバリアフリーなど多機能トイレを併設するなど、幅広い利用ができるような取り組みを広げる必要性を感じます。現状をチェックし実態把握をするとともに、優先順位をつけて計画的に取り組んでいくべきではないかと考えますが、見解を伺います。</p>	<p>市長</p>

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年 5月 28日

伊豆市議会議長 様

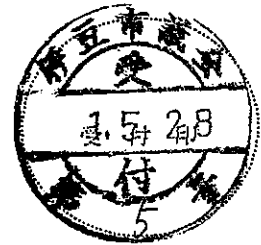
議席番号 14 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	(一般質問) ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 子どもたちを交通事故から守る取り組み	<p>大津市で散歩中の保育園児らが交通事故に巻き込まれ、16人が死傷するなど、幼い子どもたちが巻き込まれる痛ましい交通事故が後を絶たない。</p> <p>公益財団法人交通事故総合分析センターの集計によると、直近の5年間で園児が歩行中に事故に遭い死傷した数は、死亡した園児が39人、負傷は5,083人いたとのこと。</p> <p>また警察庁の分析によると小学生では、直近の5年間で歩行中に事故に遭い死傷した児童の数は5,776人に上り、特に小学校1年生が事故に遭うケースが多くなっている。</p> <p>大津市の事故を受け、各地で保育園・こども園・幼稚園の散歩コースなどの点検が行われ、国土交通省も警察と連携して過去5年間に子どもの重大事故が起きた交差点などの点検を始めたとのこと。</p> <p>幼い子どもたちを交通事故から守るため、道路施設などの整備とともに、子どもから大人までの安全教育が欠かせないが、当市の取り組みはいかがか。</p>	市長 教育長
2. 外国人旅行者の防災安全対策について	<p>昨年の日本列島は多くの自然災害に見舞われ、特に9月の台風21号・24号の上陸や北海道胆振東部地震では大きな被害が発生し、関西空港や新千歳空港が一時閉鎖され、札幌市内のホテルではブラックアウトによる停電等で観光客に大きな影響が出た。とりわけ外国人観光客にとっては、多言語での災害・交通・避難情報の伝達が不足し、災害時の対応に大きな課題を残した。</p> <p>観光を主要産業とする当市の、外国人旅行者に対する災害時の情報伝達や避難所への受け入れ体制等はいかがか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
3. 自転車保険の加入促進	<p>自転車がかかわる事故は総数こそ減少しているものの、自転車対歩行者に限ると年間約 2,500 件で横ばいとなっている。近年は、歩行中の女性をはねて重傷を負わせた小学生の親に、裁判所が約 9,500 万円の支払いを命じるなど、高額な賠償を命じる判例が相次いでいるが自転車保険への加入は充分に進んでいない。</p> <p>静岡県では保険加入を義務化する条例が制定され、10月1日から適用される。罰則規定はないが、自転車通学を認める学校の設置者や学校長に対しても、保険加入の有無を確認するよう努力義務を定めている。</p> <p>また、藤枝市では保険加入費用の一部を補助する計画とのこと。</p> <p>当市としては県条例を受けて、自転車保険の加入促進にいかに取り組んでいくか。</p>	市長 教育長
4. AED 設置場所情報の普及について	<p>AED が医療従事者以外でも使えるようになって10年以上経過し、50万台を超える AED が販売されているが、現場で実際に市民に利用されたのは4%程度にすぎないとされている。</p> <p>実施率の低い原因は様々だが、そのうちのひとつが「AED の設置場所がわからなかった」というもの。</p> <p>1分1秒を争う救命措置に、正確な設置場所情報の普及が求められる。</p> <p>スマホの普及で様々な情報が得られる現在、近くにある AED を検索できるアプリもある。市民に設置場所を知らせる広報をより充実させてはいかがか。</p>	市長

発言通告書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年5月28日

伊豆市議会議長様

議席番号 13番

議員名 西島信也

No. 1

発言の種別	一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()	
発言の要旨		答弁を 求める者
件名	内容	
1 三中学校統合基本方針について	<p>教育委員会は、平成30年11月に「修善寺・中伊豆・天城地区の中学校基本方針」を発表しました。</p> <p>そこには、「中学生にとってのより良い教育の環境づくりを目指すには、三中学校を統合すべきである。」と書かれております。</p> <p>そして、「より良い教育環境を創出するためには、同一敷地内での部活動や、学校行事への保護者の来校時の対応、また生徒がのびのびと活動し、安全に生活するためには3~4haの校地が必要であり、通学路や避難路としての周辺道路が整備できる場所が適切だと考えている。</p> <p>したがって新中学校候補地については、現中学校の改修では難しい点が多いと考え、新中学校の整備方針を踏まえ、新たな地を優先して選定することとする。」としています。</p> <p>そこで次の点についてお尋ねします。</p> <p>① 部活動や保護者の来訪、あるいは生徒ののびのびとした活動や安全について、現在どのような不具合があるのか。</p> <p>そしてそれらを改善する方策についてどのようにお考えかお聞かせいただきたい。</p> <p>② 新中学校候補地は、いつまでに、どのようなプロセスを経て選定するのか。</p>	<p>教育長 市長</p>

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 5月28日

伊豆市議会議長 様

議席番号 6 議員名 下山 祥二

No 1

発言の種別 (○で囲む)		(一般質問) ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 市民生活の安心 安全を守る行政サー ビスの取組について	<p>平成の時代から令和の時代となり、多くの市民が新たな希望を抱いていることと思いますが、あらためて平成の時代を顧みると平成7年の阪神淡路大震災をはじめ未曾有の大地震の数々、大型台風、さらには不幸な事件・事故も数多く発生した時代だったと回想いたします。</p> <p>幸い当市においては、ここ数年、甚大な被害を被った大災害や事件・事故は発生しておりませんが、南海トラフ地震の発生も危惧される中、時代は令和になっても大災害や事故はいつ発生してもおかしくない状況に変わりはありません。安心安全な市民生活を守ることは行政の最大使命であります。今後予期される大災害や、事件・事故対策の備えは十分であるか、過去の教訓をもとに当市の現状課題を明らかにし、防災、減災につとめるべきであると思います。</p> <p>最近も連日事件事故の報道がされている中、取り分け高齢者の交通事故報道が後を絶ちません。中山間地域で人口減少が顕著な伊豆市においては公共交通網が脆弱なため、現役世代から高齢者まで自家用車がなければ多くの市民の生活は成り立ちません。</p> <p>結果、不幸な交通事故のリスクは常に潜んでおり、決して他人事ではありません。当市における交通事故安全対策や事件・事故の防犯対策の課題をどのように捉え、市民の安心安全を守るため市民サービスの取組みが十分に実施されているか伺います</p>	市 長 教育長

	<p>① 高齢者の自動車事故をどのように捉え、伊豆市として高齢者の自動車事故防止、交通安全対策は具体的にどのように考えていますか？</p> <p>② 通園、通学時における交通事故安全対策は十分に図られていますか？保護者や地域住民の方々と連携されていますか？</p> <p>交通事故や防犯上危険な箇所を特定し情報共有した上で、行政として交通安全・防犯対策の取組みは十分に出来ていますか？</p> <p>③ 本年4月1日、静岡県では「静岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました。</p> <p>そして10月1日からは自転車保険加入義務化と児童・中学生の自転車通学時には乗車用ヘルメット着用義務化も施行されます。それを受けて当市においては具体的な取組みを考えていますか？</p>	市長 教育長
--	--	-----------

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 5月28日

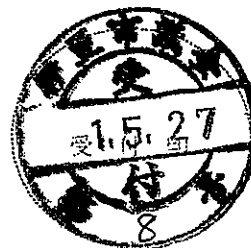
伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 青 木 靖

発言の種別 (○で囲む)	(一般質問 ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他())	答 弁 を 求 め る 者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
1. 地域公共交通 の今後	<p>2017年3月、伊豆市生活交通ネットワーク形成計画が策定され、2025年までの9年間の計画期間での取り組みがスタートしました。</p> <p>①現在までの 全体計画の進捗状況はいかがか。</p> <p>②地域内を移動する交通の“実証実験”結果はどうでしたか。結果を踏まえての、今後の展開は。</p>	市 長
2. 「生涯現役 プロジェクト」	<p>中伊豆地区の地域包括支援センターの活動で、「生涯現役プロジェクト」という取り組みを始めたそうです。</p> <p>高齢化率の上昇は、高齢者が増加しているのではなく、若い人たちがいないことが原因であり、今後は、介護を受けたくても担い手がいなかったり、いくらお金を払っても介護が受けられないこともありうる、として、介護予防の新たな対応が必要との考えから始まっているものです。</p> <p>人生100年時代 とか 生涯現役 といったことばが多く使われるようになっており、市としても、新たな取り組みに加わりませんか。</p>	

件名	内容	答弁を求める者
	1) 高齢者の「活動」を支援する取り組み	
	昼間、使っていない 特別養護老人ホームなどの送迎用 10 人乗り自動車を活用して、公園などを 2 km～4 km 歩いた後、買い物に行く「お楽しみ買い物ツアー」	市長
	2) 高齢者の「仕事」を支援する取り組み	
	高齢者が座って 2～3 時間、できる仕事をする。(仕事を探す マッチングする)	
	若干の収入を得て、自立にもつながる。	
	こうした、生涯現役に必要な 健康、自立、活動と仕事 への取り組みに、市として参加、又は 支援することで、様々な効果が期待できると考えますがいかがでしょうか。	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年 5月27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 間野 みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	(一般質問) ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. オストメイトトイレと東京 2020 オリンピックパラリンピック	<p>オストメイトとは、癌等の病気や事故等により、消化管や尿管が損なわれたため、腹部などに排泄の為の開口部を造設した人の事を言います。(単に、人工肛門保有者、人工膀胱「ストーマ」を持っている人)</p> <p>その方達が、使用するのがオストメイトトイレと言います。今年のはじめ、ある研修会で訪れた名古屋のリニア鉄道館には、オストメイトトイレが階毎にあり充実していました。また東名高速道路のサービスエリアにも当然のようにはありました。</p> <p>伊豆市にも、修善寺駅、生きいきプラザ、ウエルシアにはある事を確認しましたが、これからオリンピックパラリンピック等の大きなイベントを前に、市として、これで良いのかと不安を感じます。</p> <p>東京 2020 オリンピックパラリンピックに向け、伊豆市はどのように考えていますか。</p> <p>①伊豆市の現状はどのように把握していますか。</p> <p>②利用者に知らせるパンフレット等は考えているのか。また、知らせる方法をどう考えているのか。</p> <p>③管理も大変と聞きますが、その点はどのように考えますか。</p> <p>④今後、オストメイトトイレの増設等の方針はどのように考えますか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 8050 問題について	<p>8050 問題とは、ひきこもりの長期化、高齢化から引き起こされる社会問題です。主に、50 代前後のひきこもりの子を 80 代の親が養っている状態を指しています。</p> <p>この問題については、テレビ放送等で私も知りましたが、私達の身近でも、この状態である人を数名把握しています。</p> <p>親としては、心配し、心痛め、どのようにしたら良いか悩んでいます。</p> <p>①伊豆市としては、現状をどのように把握していますか。</p> <p>②悩んでいる方はどのように相談したら良いでしょうか。窓口がありましたら教えてください。</p> <p>③また、今後この問題に対して、市としてはどのように考えていますか。何か、方法など考えていますか。</p>	市長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元 年 5 月 27 日

伊豆市議会議長 様

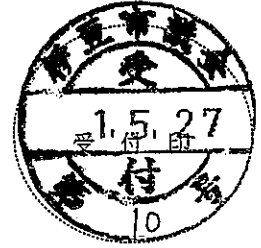
議席番号 16 議員名 木村建一

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	(<u>一般質問</u>) 質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
<p>1.子育て支援という視点から、再び国保税の子ども均等割の軽減を要求します</p>	<p>①平成21年(2009年)6月議会で市長が「人口減少危機宣言」を発してから10年がたちましたが、どのように総括していますか。</p> <p>②少子化対策という視点から、3月議会に引き続き、国民健康保険税の子ども均等割りの軽減について質問します。</p> <p>前議会で、均等割りの軽減を取り組めない理由として、(1)部長は「軽減した分、他の国保加入者の負担になる」と答弁しました。(2)市長は「自治体間の競争は避けたい。」と答弁しました。</p> <p>一般会計からの繰り入れをすれば問題はないし、国保事業は社会保障体系であり、競争すべきことではありません。いずれも取り組めない理由にはなりません。市長の所見を求めます。また、市長は裕福な自治体から始められるが…とも述べていましたが、裕福かどうかは何によって判断していますか。裕福という角度から均等割りの減免に取り組んでいる約30の自治体をどう評価しているのか所見を伺います。</p> <p>③国民健康保険の保険税は協会けんぽの保険税と比べて、相当な開きがあることが明らかになりましたが、市長の所見を伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>2.湯ヶ島地区の旧保健センターの活用はどうなっていますか</p>	<p>①保健センターの移転スケジュールの前倒しは、東京ラスクが早期に工場拡張を求めたからだということでしたが、その後の経過、工場拡張の状況の説明を求めます。</p>	<p>市長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>②説明するにあたって、市民の行政参加意識を高め、市当局と市民が共同できるツールとして意思決定と同時に検討過程が重要と思います。記憶ではなく客観的に職員も市民も知ることができるようにしていますか。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 5 月 27 日

伊豆市議会議長 三田 忠男 様

議席番号 2 議員名 山口 繁

発言の種別 (○で囲む) 一般質問 ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 庁内組織の更なる機能強化とあるべき姿について	<p>庁内組織の問題については、これまで二度ほど一般質問で問いかけてきました。機能的に見て、またコンプライアンスという観点からも重要な課題があるとの思いから、改めて以下の点についての見解を求めます。</p> <p>① <u>人口減少対策の窓口機能はワンストップで対応を!</u></p> <p>伊豆市の人口減少をどのように捉えていて、成り行きのまま推移したときにどのような現象が起きるのか? それへの対策をどのようにしていくのか? これらに関しては総合政策部を中心に分析と対策が施されているようにも思いますが、目に見えた成果が現れているようには思えません。</p> <p>伊豆市として真剣に実効のある人口減少対策を考えていくべきと思いますし、その政策について不退転の決意で臨むことを内外に示す必要があります。</p> <p>人口減少対策に必要と思われる住環境整備・雇用政策・子育て支援策・教育問題等々の様々な政策の立案については、まさに総合政策的に組み立てるべきものです。そして、それらの確実な情報発信と具体的対応の窓口機能はワンストップでできるようにしなければなりません。</p> <p>このことは総合計画にも示されている内容でもありますし、市長もこれまで言及されてきたことと思いますが一向に進まないのはどういう理由があるのかその点について伺いたい。</p> <p>② <u>市営住宅の所管は政策的な観点で決めるべきではないか</u></p> <p>既存の市営住宅については、公営住宅法に定める住宅に困窮する低額所得者のための住宅という位置づけでしっかりと存続さ</p>	市長

せる必要があります。①でも触れた市の活力を維持するための人口減少対策、それに伴う移住・定住政策を意識した若者子育て世代対応の住宅については従来型の市営住宅とは別建てで考える必要があります。

現在、市営住宅に関する所の管は建設部となっており、住宅を建設し、日常管理をし、修繕補修をしていくという観点ではその考え方に誤りはないと思います。

政策的な観点から所管部署を決めるということになれば、従来型の市営住宅は福祉政策であり、人口減少対策を意識した若者子育て住宅は、専用住宅の建設が望ましいのですがそれだけではなく民間住宅の借り上げ、空き家の有効利用などにより対応すべきで、①で示したような総合政策的な範疇となります。

このように政策的に分かれてしまう市営住宅の所管についてどのように考えるか見解を伺いたい。

③ コンプライアンスを意識した事務局体制を

コンプライアンス上極めて問題であると思われるのが、監査委員事務局に専任職員がおらず、その職務を議会事務局が兼務していることです。これまでの答弁では、職員数が不足しているということや現状で監査委員機能が劣っているわけではないとの理由から兼務止む無しということであったように思いますが、そういうレベルの問題ではありません。合併前の旧町の態勢をそのまま継続したものであると思われるますが、時代の要請は明らかに変わってきています。

監査をされる組織が監査をする事務局を兼ねるというあまりにも倫理規範を欠く組織の作り方は早急に改めるべきです。また、監査委員監査をより実効あるものにするためにも専任の事務局責任者、スタッフの配置は必要ですし、多様化する議会事務局の機能強化のためにも兼務解消は必須事項です。

また、農業委員会の事務局を農林水産課職員が兼務するなど独立した行政委員会の機能を保てるかといった疑問がわいてきます。これらの点についての見解を求めます。

④ 更生保護行政の事務局所管に一考を

更生保護行政については、これまで国（法務省）が直轄的に実

<p>2. 耕作放棄地の解消と有効活用の推進について</p>	<p>施してきている経緯があり、県や市町村はあまり関与をしてこなかったように思いますが、これからは地方自治体に再犯防止推進計画を策定させるなど、様子が変わってくると思います。少なくとも更生保護は社会福祉政策の範疇に入るものと思ひ、現在の事務局所管（市民部が担当）は一考の余地があるのではないかと思います。</p> <p>総合計画では、「耕作放棄地の解消と有効活用の推進について」として、産業力強化の中の主要事業のひとつに位置付けています。本年度予算にもそれに関連した措置が取られています。そこで質問します。</p> <p>①総合計画では、耕作放棄地の解消とありますが、本年度予算では、遊休農地の解消事業となっています。「耕作放棄地」「遊休農地」はほぼ同義語と思ひますがその点について改めて解説いただくことと、表現を変えたのはどのような理由からかを伺います。</p> <p>②農地に占める耕作放棄地の現状について、ここ数年間の推移や今後の見通し、さらには総合計画で示されている耕作放棄地面積の削減目標である 205ha→195ha の進捗状況について伺います。</p> <p>③「遊休農地」は農地法上の用語と思ひますが、この遊休農地に関して固定資産税の課税強化がある一方で、農地の課税軽減という両極の措置があるようです。これらの措置に関する詳細説明と、伊豆市において当該事例があるのかを伺います。</p> <p>④本年度予算に計上されている遊休農地解消事業は、転作のための奨励作物（大豆）を耕作することを支援するようになっています。そもそも農業従事者の高齢化、後継者不足などにより農業従事の継続が困難なために遊休農地が発生することになるわけで、転作奨励で解決する問題ではないように思えます。この点についての見解を伺います。</p> <p>⑤遊休農地は個人の農地から発生するものから、ある集落の複数の地権者の集合体で発生し規模的にはかなり広大なものになるものまであるはずで、地権者としてみれば、農地として活用していたものが他の全く違う用途に転用されるより、引き続き農地としてさらに価値のある使われ方をすることを望む考え方もある</p>	<p>市長</p>
--------------------------------	---	-----------

	<p>と思います。</p> <p>そこで、遊休農地の有効活用の推進に関する一例を示します。再生可能エネルギーの調和条例を制定するときにも議論があったように思いますが、再生可能エネルギーとコラボした営農型事業の導入が考えられます。太陽光発電においては売電価格の引き下げにより一体型事業を運営するための原資調達が困難との考え方が一般的になってきたことから、他の再生可能エネルギーに可能性を見出す動きがあるように聞いております。</p> <p>地権者の合意はもとより関連法令等や市の再生可能エネルギー調和条例をクリアすることが前提ではありますが、こうした事業を積極的に導入することにより、総合計画に示された関連目標を達成することにつながるのではないかと思います。この点についての見解を伺います。</p>	
<p>3. 市有林における椎茸原木の有効活用について</p>	<p>旧町時代から引き継いだ市有林の中には伊豆市の特産品でもある椎茸の原木になるくぬぎ林が広大に存在しているということを知っています。樹齢もすでに椎茸原木としての適齢期をあとわずか残すのみとなっているようですが、原木の切り出しのための作業道が経年変化によって使用に耐えられない状況になっている箇所があるとのこと。そうした箇所をそのまま放置しますと市有財産である椎茸原木としての有効利用ができなくなり大いなる損失を招くこととなります。</p> <p>市有財産である椎茸原木の有効活用をはかるために、椎茸生産者との連携により有効な対策をとるべきと思いますが、その点についての見解を伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>4. 認知症などによる徘徊者の探索、身元確認事業について</p>	<p>認知症などで徘徊のおそれのある人に対し、万が一徘徊をしてしまったときの探索や身元特定を容易にするための事業として、「安心くつシール」があります。</p> <p>この事業は、近隣市町に先駆けて平成 29 年 5 月より実施されています。開始からまだわずかな期間しか経過していませんが、これまで 30 件以上の登録があり、通報事例もあり有効に機能したと聞いています。それなりの成果が期待される事業ですが、近隣市町の</p>	<p>市長</p>

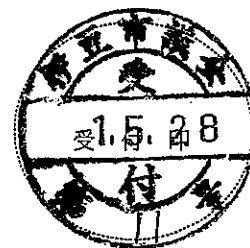
状況を見ますと、伊豆市よりは後発ではありますが、伊豆の国市、三島市、沼津市と、この種の事業に関して、一步進んだ QR コード付きラベルを衣服に貼付しスマホで検索が可能な統一した仕組み（はいかい者探索事業「スマホでアクセス！どこシル伝言板」）で実施しています。函南町も同様の仕組みを採り入れる検討に入ったとも聞いています。

徘徊は市内に留まらず、他の市町まで及ぶ可能性があります。そうした意味では、近隣市町と連携した取り組みをした方がより効果の上がるものになると思われれます。

伊豆市・伊豆の国市を管轄する大仁警察署、駿東田方一円を管轄する消防組合などの存在を考えれば広域連携をした事業の統一は急務と言えます。

伊豆市が先行した事業ではありますが、これまでの実績を評価したうえで、近隣市町が実施している一步進んだ事業を実施し、広域連携でのメリットを活かすべきと思います。このことに関する見解を伺います。

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年 5月 28日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 波多野 靖明 印

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		(一般質問 ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ())
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 消防団の現状と今後について	<p>現在、伊豆市には4方面隊、14分団、総勢502名の消防団員が地域の安全を守るために様々な活動や訓練を行っております。</p> <p>しかし、消防団員も少子高齢化の進む中で担い手が少なくなっており、その人数は定数には及んでおらず、また地域によっても開きがあるようです。</p> <p>そして、各地区の消防費にも限りがあり、消防団の運営に困っている団が殆どではないかと予想します。</p> <p>また、緊急事態の出動に関しても、少人数かつ仕事場は市外の方もおりますので、現場への人員不足なども今後の課題として大きなものと思われまます。</p> <p>この先いつ起こるかもしれない大規模災害への対応には、広域での繋がりが必要不可欠になってくるのではないのでしょうか。</p> <p>また、若者の消防団への参加につきましても、出勤費の見直し等、生活面からみても安心して消防団へ参加できるような見直しが必要ではないかと考えます。</p> <p>① 大規模災害時の消防団の活動について</p> <p>② 広域での活動や人脈作りによって、幅広く知識も充実し、いざという時の連携にもつながるような研修の在り方</p> <p>③ 出勤費について</p> <p>④ 消防団の運営費について</p> <p>⑤ 消防協力隊や消防団OBの実態と今後の方針</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
2.土日、祝日の保育 利用について	<p>伊豆市では観光を生業とした人が多く、そのため、土日・祝日に仕事の方も多くいらっしゃいます。</p> <p>働き手の子育て世代の方から聞いた意見では、特に長期休み等、一番忙しい時期に、こども園・保育園に預けることができず、サービス業に携わるには難しい形態となっている現状だと聞いています。</p> <p>仕事場によっては、子供を出産したら、慣れた仕事を辞め、土日・祝日を外せる仕事へと転職を考えたりする等、慣れ親しんだ仕事から距離を取らざるを得ない人もいると聞きました。</p> <p>仕事は生活を支えるための資金を得るものでもありますが、人生において、やりがい・生きがいを見出せる場所でもあり、長く同じ場所に勤めるということは、地域への定着の一つでもあると考えます。</p> <p>現在の伊豆市の土日・祝日の保育の預かり状況、希望者はどのくらいいるか把握していますでしょうか。</p> <p>また、今後の改善点など、地域に根ざし、ニーズにあった利用方法の検討はしていますでしょうか。</p>	市長